

ズワイガニ

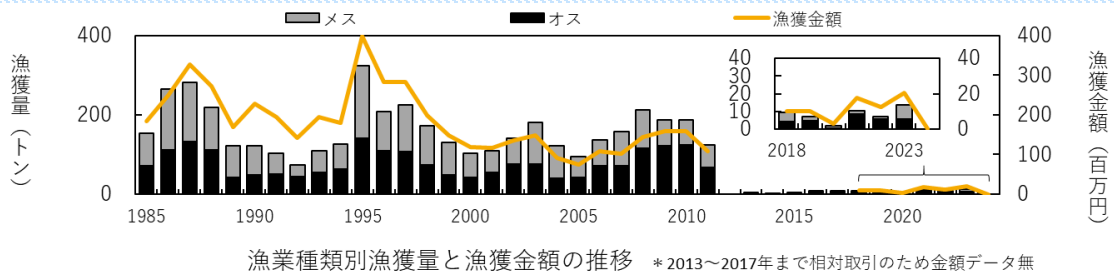
1 生態

- ・日本海、オホーツク海、ベーリング海、アラスカ沿岸、犬吠埼以北の太平洋に分布します。太平洋北部では水深150～750mに分布し、主な漁場は茨城～金華山沖の水深400～500mです。
- ・オスは甲幅105mm以上、メスは甲幅75mm以上になると全て成熟します。産卵期は冬～春とみられます。甲幅約20mmの個体が漁獲対象となるまでに、オスでは5～6年、メスでは4～5年かかると推測されます。
- ・主に甲殻類、魚類、イカ類、多毛類等の底生生物を食べていると考えられます。



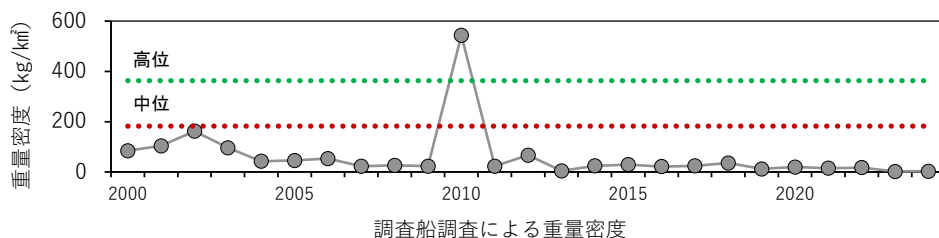
2 漁業に関する情報

- ・底びき網で漁獲されています。
- ・2024年（令和6年）に水揚げはありませんでした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）1月から再開されています。



3 資源の状態

- ・調査船調査によるズワイガニ重量密度は、2010年（平成22年）に543.4 kg/km²と非常に高かったことから、それ以外の年は資源水準が低位に区分されています。
- ・2024年（令和6年）の資源水準は低位で、資源動向は減少傾向にあります。
- ・2024年（令和6年）漁期のズワイガニ漁獲は、従来ズワイガニが分布する海域で操業が行われたにも関わらず漁獲がなかったことから、非常に低い資源水準であると考えられます。



4 資源管理の取組み

- ・農林水産省令により漁期（採捕できる期間12月10日～3月31日）と未成熟がにの採捕制限（甲幅8cm未満のオス、腹節の内側に卵を有しないメスの採捕禁止）が定められています。
- ・国のTAC（漁獲可能量）制限により、水揚量の総量制限が実施されています。2024年（令和6年）漁期（7月～翌年6月）における太平洋北部系群のTACは20トンです。
- ・相双漁協相馬原釜地区では自主規制により、1隻1日の水揚量が制限されています。